

# 介護の現場で働く人 × 市議会

今回は市内の特別養護老人ホームや介護サービス事業所など、介護の現場で働いている皆さんにお集まりいただき、やりがいや悩み、コロナ禍における介護現場の状況などについてお話を伺いました。



参加者の自由で活発な発言を促す観点から、氏名等の掲載は控えています。

## 介護の仕事の楽しさや、やりがいを伝える催し物などをやって、盛り上げてもらいたいです

〈やりがいや、苦労についてお話を〉

■人生の先輩である（利用者の）皆さんのお話を聞くことができ、価値観や視野が広がる仕事だなと感じています ■求められている、誰かの役に立っていると実感する時は、この仕事で良かったなと思います ■利用者がお亡くなりになったり、徐々に衰弱していく様子を見るのが一番辛いですね ■コロナ禍で2年ぶりにパネル越しに家族に面会でき

た利用者さんが、しっかりと覚えていらして涙を流している姿を見て、本当に良かったなと感動しました ■有給休暇の取得が義務化されましたが、人材不足で職員の希望を全部は聞いてあげられないところが心苦しいです ■認知症の方への対応は、情報共有しながらいろいろなことをやっても、どうしてもダメな時があり、疲れがどっと出て、自分の力のなさを感じます ■認知症の方への対応は難しいですが、チームで解決して、介護に成功

したときの達成感や喜びがあります

〈コロナ禍での介護現場の現状は？〉

■利用者が部屋から出る時は、マスクを着用してもらうようお願いしていますが、認知症の方だと外してしまいます ■食事の席にはパーティションを用意して、飛沫が飛ばないようにしていますが、環境が変わるとネガティブになってしまったりもありません、落ち着いた状況でした ■（介護職の）自分だけ



なく、家族にも行動を制限してもらいました。この仕事をしていなければそんな思いをさせることもなかったのと思います ■最初はアルコールやマスクなど、物資が足りなくて困りましたね ■ただでさえ人材難なのに、コロナで更に職員が減ってしまっって、一人の業務負担が増えました ■家にずっといる方で出入りがヘルパーのみというお宅の場合、コロナを持ち込むのは私たちなので、無症状で感染することが、本当に怖いですね ■ショートステイの部屋を隔離部屋にしたので、ショートステイを受け入れられなくて、経営にも影響が出たみたいです ■新しい利用者を受け入れるかどうかで、現場と経営の間で意見が合わなかったことがありましたね

〈市や議会に期待することは？〉

■介護の仕事の楽しさや、やりがいを伝える催し物などをやって、盛り上げてもらいたいです ■市内の事業所で働き始めたり、働き続ける人に、お祝い金などが出る制度があれば、モチベーションも高まり、就職率や定着率も上がるんじゃないかな ■介護従事者に対して、インフルエンザワクチンの補助があればありがたいです ■交通費や処遇改善加算の支給は事業所や立場によって違うので、その辺を考えてくれたらいいですね

● **第1回臨時会議**  
**12月定例会議 議案審議**  
**開 会 会 議** ●

**あきる野市の  
 こんなことが決まりました。**

第1回臨時会議 11月9日  
 12月定例会議 会議期間21日間 11月26日～12月16日  
 開会会議 1月7日

第1回臨時会議の議案は  
 市長提出議案…………… 2件  
 12月定例会議の議案は  
 諮問…………… 1件  
 市長提出議案……………22件  
 陳情…………… 1件  
 議員提出議案…………… 2件  
 開会会議の議案は  
 市長提出議案…………… 1件

今号では  
 この中から  
 7つを **Pick up**

全ての議案等の内容と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。  
 ご覧いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

**Pickup 1**  
**市民プールの管理運営する指定  
 管理者が決まりました。**

現在、市民プールの指定管理者として管理運営を行っているシンコースポーツ・アズビル共同事業体を、引き続き指定管理者として指定するものです。指定期間は、令和4年4月1日から令和9年3月31日までです。

こんな意見が出ました。

- 現在も非常にいい取組をしてもらっており、高く評価する。プールの状況を鑑みたときになかなか難しいと思われる中で、引き続き手を挙げてくれたというのがあるが、ぜひ賛成したいと思う。
- 屋外プールについて廃止かリニューアルかの結論を出す際は、決めていく経過に透明性を持ち市民の声も聞きながら決めてほしい。廃止の場合の活用については、全国展開している指定管理者でいろいろ実績もあるようなので、その強みを生かしていい形で活用してもらいたい。
- 一定の基準を満たしていると教育委員会でも評価、判断されており、賛成する。



〈議案第82号〉 あきる野市体育施設に係る指定管理者の指定について  
 〈議員提出議案第318号〉 村木英幸市長に対し反省を求める決議

**Pickup 3**  
**村木英幸市長に対し反省を求める  
 決議が可決されました。**

市長に対し、市の業務に無用な混乱を招き、職員に過剰な負担を強いていること、公共交通検討委員会及び議会に対する不誠実な態度を深く反省し、態度を改めるよう強く求める決議が議員提出議案として提出され、賛成多数で可決されました。

提出者及び賛成者

- 提出者 中村のりひと
- 賛成者 合川哲夫 天野正昭 白井 建 浦野治光 大久保昌代 窪島成一 子籠敏人 辻よし子 中村一広 原田ひろこ ひはら省吾 堀江武史 増崎俊宏 村野栄一 よしざわゆたか



※1 パートナーシップ制度 同性のカップルなどを「結婚に相当する関係」と認める制度  
 ファミリーシップ制度 パートナーシップ宣誓者の近親者を家族として認める制度  
 ※2 趣旨採択 請願・陳情の願意は十分理解できるが、当分の間は願意を実現することが困難な場合に採られる決定の方法

**Pickup 2**

**※1** **パートナーシップ制度・ファミリー**  
**シップ制度に関する陳情書は趣旨**  
**採択されました。**

パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度を創設し、一日も早い取組を進めてほしいという陳情です。陳情の趣旨については十分理解でき前向きに受け止めています。ただ議論の余地があり、今後の東京都や国の動向を見ながら慎重に進めていく必要があるため、趣旨採択となりました。

こんな意見が出ました。

- 議論や協議が尽くされていない中で、両制度を同時に採択するのは時期尚早ではないか。
- たとえ東京都が今、検討しているとしても、その妨げになるものではない、むしろ望んでいる市民もいるのだということを示す意味でも進めるべき。
- 本当によりよい制度にするためであれば、もう少し議論して、様子を見てもいいのではないか。
- 全会一致を要する趣旨採択が成立せず不採択になってしまうと、両制度についてはまだやる必要がないと受け取られてしまうのが本意なので、趣旨採択で折りたい。



### Pickup 4

## 3回目の新型コロナウイルスワクチン接種を実施します。

市民への3回目の新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に実施するため、必要な経費及び財源となる国庫支出金1億7577万5000円を計上するものです。

こんな質問・意見が出ました。

**Q** ワクチン接種の診療報酬に関して、接種委託料に変化はあるか。  
**A** 接種委託料は全国の統一単価となっている。1回当たり2277円、診療所の時間外で接種をした場合には1回当たり803円、休日実施した場合には1回当たり2343円を加算することになっており、1回目、2回目の接種と変わりはない。

● 接種委託料が下がることがなくて良かった。これからも医療機関の負担にならないように考えるべきだと思うので、国に声を上げてほしい。



### Pickup 5

## 小・中学校のトイレに抗ウイルス機能を有した薬剤を試験的に塗布します。

小・中学校トイレにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止及び臭気対策として、抗ウイルス機能を有した薬剤の塗布を試験的に行うため、委託料を計上するものです。

こんな質問・意見が出ました。

**Q** 東京駅や地下鉄、航空機のトイレなど、いろいろな場所で既に使われている。例えば木材などに使用しても、11年経っても腐食しないような、すばらしいものだと聞いている。いつから導入する予定か。  
**A** 学校の選定や部分的に行っていくのかなどを協議し、なるべく早いうちに施工していきたいと考えている。

● 廊下を通ったときに臭うなど感じている学校も非常に多くあるので、いい検証結果が得られたら、今後、持続的に進めてほしい。



### Pickup 6

## 子育て世帯への臨時特別給付金10万円を現金で一括給付します。

子育て世帯の生活を支援するための臨時特別給付金について、給付方法に10万円の現金一括給付が選択肢として追加されたことに伴い、第7号補正予算において先行給付として計上していた子ども1人当たり5万円の給付金に5万円を追加し10万円を一括給付します。

こんな質問が出ました。

**Q** 一括給付により、400万円ほどの差額が事務費として軽減されるという理解でよいか。  
**A** そのとおりである。

**Q** 結婚等で親と別世帯になっている18才以下の人は対象になるか。  
**A** 支給対象にはならない。

**Q** 基準日以降に離婚等で児童手当を受給することになった人にも後追いで対応してもらいたいが、いかがか。  
**A** 国の要綱等に従って進める考えなので、意見として承っております。



子育て世帯への臨時特別給付金

### Pickup 7

## 住民税非課税世帯等に対して、臨時特別給付金10万円を現金で給付します。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、令和3年度住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり10万円を給付します。

こんな質問・意見が出ました。

**Q** 確認書が戻って来ない世帯への対応は。  
**A** その世帯数にもよるが、はがきの送付等による勧奨を考えている。

**Q** 家計急変世帯とは、昨年1月以降の所得がひと月でも非課税世帯並みに減っていれば対象になる。広報に工夫が必要では。  
**A** ホームページやチラシの表現をわかりやすいものに工夫したい。

● 地方創生臨時交付金を活用し、国基準では対象外となる社会的弱者に、市独自の給付をしてほしい。



# 聞いてみたいなこと



## 一般質問

**一般質問とは？**  
皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 20人 質問項目 46件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会から」本会議録画中継」を検索するか、スマートフォンやタブレットで2次元コードを読み取りご覧ください。

### 利用者寄り添った生活保護制度について



たばたあずみ (共産党)



**Q** フードバンクから提供された食料等は収入認定しなくてよいという厚生労働省の通知が出ているが、本市での対応は。

**A** 本人から収入申告をしてもらった上で、内容の聴取を行い、フードバンクから提供された食料などであると確認できた場合、収入認定しないよう取り扱っている。

**Q** 利用者に限らず、自炊ができない人を対象に、ごく基本的な調理の講習会を開き、利用者の参加を促すことはできないか。

**A** 中央公民館では、NHK学園との共催で手ごねパン教室などを行っている。また、コロナ禍の前には、男性の料理教室なども実施していたので、今後、考えていきたい。

他に近所の力を高める取組について質問した。



### 特別障害者手当について



関口 えり子 (共産党)



**Q** 日常生活に常時特別な介護を必要とする方や重度の精神障がいの方など、身体障害者手帳を持っていないくても支給が受けられる特別障害者手当について、以下質問する。

**A** 支給を受けるための認定基準はあるか。

**A** 20歳以上で身体障害者手帳1、2級程度、愛の手帳1、2度程度の障がい重複している方、又は、これらと同等の疾病、精神障がい有する方とされている。

**Q** 本市において、現在支給されている方は何人いるか。



**A** 11月の支給人数は80人。

**Q** 要介護度の重い方や重度の認知症の方なども支給の対象に入ると考えてよいか。

**A** 支給要件である著しく重度の障害の状態は、政令で定められた視力、聴力、上肢、下肢、体幹などの障害の程度によって判定される。介護度が重い、重度の認知症というだけで認定されるものではないが、その方の障害の状態によっては、認定基準に該当する場合もある。

**Q** 市民への周知はどのようにしているか。

**A** 広報及びホームページで周知を行うとともに、「障がい者福祉の手引き」にも掲載している。

他に新型コロナウイルス感染症について質問した。

### いじめ・不登校・ひきこもり対策について



白井 建 (自民党志清会)



**Q** いじめ・不登校・ひきこもりの現状は。

**A** いじめは計304件、不登校は計148人で前年度から減少。ひきこもり相談件数は計6件で増加。

**Q** いじめのアンケートは各学校が作成実施しており、良い例等を学校間で共有し、いじめ対策に取り組むべきであるが、所見は。

**A** 各学校で様々な工夫があり、他校でも参考になるので、早速、生活指導主任会等で情報共有をする。

**Q** 町田市小学生いじめ自殺事案等は、重大事態の解釈が不十分だと思う。国の方針では、「被害児童等から重大事態の申立があったら、学校がいじめの結果によるものではないと考えたとしても、重大事態が発生したものと学校は調査等を



することとなっている。このことが学校等で正しく認識されるよう指導すべきと考えるが、所見は。  
**A** これまで以上に軽微ないじめを見逃さない積極的な認知や複数の教員による早期解決、解決した後の見守りを徹底する。また、子どもからのSOSを重く受け止め、ご家族の心情も汲みながら対応しなければならぬと改めて強く感じ、学校へも指導している。必要に応じて適切に調査を実施し、子どもが安心して学校生活を送れるよう努めていく。



## 交通安全対策について



窪島 成一  
(自民党志清会)



本年9月に、あきる野市内で交通死亡事故が発生している。この事故は、草花の

永田橋通りにおける、大型トラックと歩行者による事故と伺っている。

**Q** 今回の事故の原因はどのようなものだったのか。

**A** 大型トラックの運転手の右側の巻き込み確認の不足と前方不注意によるもの。

**Q** 福生警察署に提出した要望書の内容は。

**A** 主に信号機に関するもので、歩行者と自動車を分ける歩車分離式の信号機への変更、歩行者用信号の青信号の時間延長、他に表示が薄く

なってきたりしている横断歩道や停止線の引き直しなど。

**Q**

発生した交通事故の情報を早く得られるよう、何か手立てが考えられないか。

**A**

死亡者が発生した場合、警察署から地域防災課に情報提供される。どのような情報かは、事故に関する調査、被害者の家族の意向などを受けて、警察署が判断することになっていくため、情報提供について警察署や関係部署と調整をしていきたい。

## 防災・減災の取組について



原田 ひろこ  
(公明党)



**Q** 災害時の停電における避難所の電源確保の対策は。

**A** 可搬型の蓄電池26台保有、指定避難所に1台ずつ配備できる。本年度中にさらに26台購入予定。自動車販売事業者との協定締結による災害時の電気自動車の利用等も進めたいと考えている。

**Q**

指定避難所において、蓄電池などを用いて停電時に最低限の電力確保を検証する機会を設ける予定はあるか。

**A**

コロナ禍の状況で実施予定はないが、検証は庁舎内でも可能と考える。蓄電池のメンテナンスや避難訓練の機会に検討したい。

**Q**

自動車販売事業者との協定締結は、今後、どのように進めていくのか。具体的に協議しているものはあるか。

**A**

電気自動車やプラグインハイブリッド車等の自動車販



## 災害発生時の対応について



よしざわゆたか  
(自民党志清会)



我々を取り巻く豊かな自然環境は、いつ何となく恐ろしい自然災害として牙をむいてくるか分からない。そのため

**Q**

避難所及び医療救護所の設置マニュアルは。

**A**

避難所設置には「避難所開設キット」を作成し、指定避難所26施設に配備済み。医療救護所設置運営マニュアルについては作成中。

**Q**

過去10年間の災害対策本部の設置回数、医療救護所及び避難所の開設総数は。

**A**

対策本部の設置回数は11回、避難所の開設は合計で61施設、医療救護所の開設はない。

**Q**

コロナ禍における防災訓練の実施方法は。

**A**

総合防災訓練は中止となったが、新規感染者数が減少した10月以降、町内会・自治会単位で十分な感染対策を取った上で少しずつ実施されている。

## 産前・産後サポートについて



子籠 敏人  
(自民党志清会)



業について、ニーズの把握に努めるとともに、先進事例を参考に検討していく。

他に不育症への支援、キャッシュレス決済の拡大について質問した。

**Q**

産後ケアなどのサポートに加えて、出産前から家事や育児を支援するために、ヘルパーを派遣するなどのサポート事業に取り組み自治体が増えている。切れ目のない支援体制を充実させるためにも、本市でも検討できないか見解を伺う。

**A**

産前・産後サポート事業は、妊娠時から出産後の体力が回復するまでの間、家族等から援助が受けられず、体調不良などの理由により支援が必要な家庭に対して、ヘルパーを派遣して家事や育児などを援助する事業である。支援の内容は、簡単な食事の支度や洗濯、掃除、買い物、授乳やおむつ交換の手伝いなどがある。市では妊娠期から出産、子育てにわたるまでの切れ目のない支援に取り組んでおり、更なる支援の充実を図るため、産前・産後サポート事



## 市内小・中学生の体力、運動能力の傾向と課題について



ひらはら 省吾  
(自民党志清会)



**Q** 児童・生徒の基礎体力向上は、学力向上と並ぶ重要な課題である。市内小・中学校では、体力向上を図るために6月に体力調査を実施し、児童・生徒の実態を把握するとともに、課題を見出し、指導に生かすとしている。そこで、市内小・中学生の体力、運動能力の傾向と課題について、市の所見を伺う。

**A** 平成29年度以降、多くの学年で東京都の平均以上の結果が見られているが、小学6年生だけは、毎年、体力合計点が都の平均を若干下回っている。小学校の低・

**Q** 東京都の平均よりもあきる野市の児童・生徒の数値が高いことの研究、調査等は行っているか。

**A** 特に研究はしていない。子どもたちの資質の良さと環境の良さも理由として考えられる。

他に行政デジタル化について質問した。

## 町内会・自治会の法人化等について



中村 一広  
(自民党志清会)



**Q** 学習等供用施設等を公民館のような位置づけとして、地域住民自らが地域に合った自主事業を展開していくことは可能か。

**A** 地域住民の連帯意識や社会福祉の増進などが設置目的となっており、これらの施設において、地域住民自らが地域にあった自主事業等を展開していくことは可能であると考えている。

他に秋川駅北口駅周辺の再生について質問した。

**Q** 地縁団体の法人格を有している町内会・自治会数はどのくらいあるのか。

**A** 38の町内会・自治会が登録、他に町内会・自治会より小さい単位の6つの地区会が登録されている。

**Q** 法人化することのメリット、デメリットは。

**A** メリットは団体名で不動産の登記が可能になる。デメリットはほとんどない。



## 小・中学校のトイレの環境改善について



大久保 昌代  
(公明党)



**Q** 古くて臭いのあるトイレの使用を嫌がる児童・生徒も多く、PTAなどからもトイレに関する要望が多く出ている。市の考えと取組は。

**A** 臭いについては、通常清掃業務を委託しているほか、必要に応じて専門業者による小便器の尿石除去や床排水トラップ及び便器周辺のタイル清掃などの特別清掃を実施しているが、臭いをなくすることは難しい状況にある。

**Q** 通常清掃と特別清掃の清掃頻度と近隣市の状況は。

**A** 通常清掃は、シルバー人材センターに週1回の清掃を委託している。近隣市も本



市と同様の頻度。特別清掃は、予算の範囲内で、原則的には順番に行っている。

**Q** 小・中学校746か所のうち、洋式は543か所、洋式率は73%。体育館は51か所全てが洋式化され、武道場も13か所全てが洋式となった。校舎、体育館、武道場を合わせると、810か所のうち、607か所が洋式となり洋式率は75%。約200か所は和式だが、和式を残した理由は。

**A** 洋式トイレを使用することに抵抗がある人もいる。多様性を認める観点から、便座に座らない和式の便器を各トイレに1か所残し、その他を洋式とした経緯がある。

他に市民に優しい市民相談窓口について質問した。

## デジタルデバイス(情報格差)解消への取組について



増崎 俊宏  
(公明党)



社会全体のデジタル化が進むことによって、暮らしの利便性が向上する一方、年齢等によるデジタルデバイスが生じており、その解消に向けた取組が必要と感じている。

**Q** 本年8月に実施された「初心者向けスマホ体験教室」の内容は。

**A** スマートフォンの基本操作、インターネットの検索方法など、基礎的なものを体験できる内容となっている。

**Q** 私たちの党は、デジタル機器に不慣れた高齢者でもデジタル化の恩恵を受けられるよう、無料のスマホ講習会の強化を主張している。

**A** 多くのスマホ講習会や相談会などを市内で開催すべきと考えているが、市の見解は。デジタル活用の支援策としては、スマートフォン等の使い方について、身近で聞



他にプッシュ型行政サービスについて質問した。

## 就学援助制度の改善について



松本 ゆき子  
(共産党)



**Q** 就学援助制度の利用状況は、令和3年10月末時点で、対象児童・生徒数6210人に対し、735人となっている。

**A** 文科省が就学援助費支給対象として14項目を挙げている中、本市では就学援助費支給要綱で、学用品費等・校外活動費・通学費・修学旅行費・新入学児童生徒学用品費・給食費・医療費の7項目を支給対象としている。以前から卒業アルバム代等の追加要望を行ってきたが、他市の支給状況と市の考え方を伺う。



**A** 卒業アルバム代を支給している市は26市中13市。13市のうち1市は要保護世帯及び生活保護受給世帯のみに支給。支給額については、実額が5市、上限等を定めている市が8市である。教育費の支援を必要とする世帯に可能な限り公平に支給するものと考えている。

**Q** 平成17年に準要保護者に対する国庫補助費が廃止され自治体間の運用格差が生じていると考える。国庫補助費を復活すべきと考えるが教育委員会の見解は。

**A** 就学援助に限らず、義務教育に対する必要な国庫補助等の要望は、今後も機会を捉えて行っていきたい。

他に公共交通の充実について質問した。

## 町内会・自治会の活動支援について



浦野 治光  
(自民党志清会)



町内会・自治会は、新型コロナの影響を受け、住民自治などの活動が制限されながらも、取組を継続しているが、来春には、新任の会長となる町内会・自治会もあると思う。

**Q** 活動制限の影響がある中で、新任の会長は事業継続の面からも不安であると思うが、支援策を考えているのか。

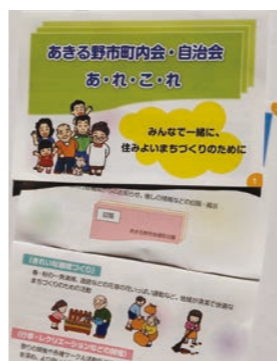
**A** 各種補助制度などを有効に活用し、様々な事業に取り組めるよう、町内会・自治会連合会と連携しながら、説明会や個別相談等の対応を考えている。

加入促進などを協議している。今年度末を目処に、町内会・自治会の事業や加入促進活動に活用できる手引きとなるものを取りまとめていきたい。

**Q** コミュニティ事業交付金の利用促進を図るため、採択要件などの見直しの考えは。

**A** 町内会・自治会からの意見も聞いた上で、補助限度額の引上げや継続事業の期間延長など、活用しやすい交付金となるよう、引き続き、検討する。

他に市道1-23号線の交差点改良について質問した。



## コロナ禍における生活保護制度について



よし子 たくさしぎ



**Q** 厚労省は、生活保護の申請は国民の権利であり、ためらわず相談しよう呼びかけている。市が相談しやすい環境づくりに工夫した点は。

**A** 申請をためらう要因となっている車の保有や転職指導などの内容を盛り込んだ面接相談の専門研修を実施し、体制強化を図った。

**Q** コロナ禍で扶養照会の運用を緩和する国の通知が出た。これを機に「生活保護のしおり」を再改訂してはどうか。

**A** 相談者や調査を受ける人の視点に立って、わかりやすい内容に改訂していく。



**Q** 車の保有についても制度が現状に追いついていない面があり、しおりの書き方を工夫する必要があるのでは。

**A** 「特別な場合を除き、保有・運転は原則認められませんが」と記載しているが、特別な場合の具体的な内容が示されておらず、読む人の立場に立った内容とは言い切れない。コロナ禍で車の保有についても弾力的に対応するよう国から通知も来ているので、文章の見直しを検討していく。

**Q** 「生活保護のしおり」を関係部署の窓口、社会福祉協議会、図書館、公民館などにも置いてもらえないか。担当部署の意見を聞き、検討していきたい。

**A** 他に浄化槽台帳の整備について質問した。

## 運転手付市長車について



天野 正昭  
(自民党志清会)



市長が運転手付市長車を一方的に廃止して2年が経過した。このままでよいのか、以下伺う。

**Q** 市長の公用外出の回数及び誰が運転をしたのか。

**A** 令和3年度4月1日から11月15日までに42回。このうち市長自身の運転回数は19回、職員が23回。

場合はJR。そういう形でこれからもやっていくことになるのかと思う。

**Q** 市長車の再導入に関して、専門の検討会か審議会を発足させたらどうか。

**A** 公用車を廃止して、何期もやっている市長もいるので、話や意見は伺ってみたい。他に観光政策について質問した。

**Q** 外出回数の増加が予想される中、安全運行面、実経費

**AQ** 今後予想される外出回数は、約80回になると見込まれる。

**Q** 面、運転をさせられる職員の負担面、他自治体との状況比較等から、市長車は復活させる方が正しい選択と思われる。いかがか。

**A** 市内及び近隣は自身の車でやっている。府中市の自治会館は市職員の運転。コロナがまだ流行していなかったとき、例えば都庁に行く



## 教育について



中村のりひと  
(明るい未来)



**Q** 昨今、日本全国で様々な学校が開校されており、イエナプラン教育実践校の広島県福山市立常石小学校、廃校になった校舎を活用した長野県佐久穂町のイエナプラン教育の大日向小学校、教育移住者が多い長野県軽井沢町の軽井沢風越学園等がある。今後、様々な学校での教育実践を本市でも積極的に取り入れていく必要があると考える。そこで、このような学校への教員派遣等を実施できないか。

**A** 先進校の事例を学ぶ機会を設けてはどうか。  
**Q** 先進校の事例を学ぶ機会を設けてはどうかか。  
**A** 学力向上や、いじめ、不登校の問題、特別支援教育など、教育基本計画(第3次計画)で重点施策とする予定の施策は、従来の取組を充実させるだけでなく、新たな取組を進めるため、先進地区や先進校から学ぶことは非常に有意義なこと。今後も目的に応じて視察や教員研修を実施する。



**Q** 不登校関係の視察はどのようなものを実施したか。  
**A** 不登校では、八王子市にある不登校特例校の高尾山学園や本市の民間学習施設、不登校にも関わりもある特別支援教育では、近隣地区の学校に伺った。  
**Q** 他に公共交通、自治基本条例などについて質問した。

## 公共施設等 総合管理計画について



合川 哲夫  
(明るい未来)



本市にある公共施設の老朽化対策が必要になってくる。

**Q** 今後5年間に大規模改修の実施時期の方向性が示されている建物。  
**A** 対象施設数は24施設となっている。  
**Q** 金額は、およそいくらか。  
**A** 対象の24施設について個別の試算は行っていないが、個別施設計画等の中で従来の修繕、更新等費用の推計では、今後5年間で約20億5000万円程度が目安となると考えている。



**Q** 築年数が浅い建物でも劣化が進んでいる。費用対効果で優先順位を決め、若手職員で調査選考チームを立ち上げては。  
**A** 公共施設等の適正化検討プロジェクトチームを設置している。若手職員の参画等も含め、推進体制の充実を

**Q** 個別施設計画における今後の維持管理等の費用は、従来型で今後40年間で1303億円、年33億円とされているが、財政的見地からどう捉えるのか。  
**A** 施設の適正配置の観点から、施設の必要性を十分に勘案するとともに、財政フレームとの整合性を図りつつ施設の統廃合について総合的に検討していく必要があると考えている。  
**Q** 他に保健所、歩きスマホ防止条例の制定、用地買収について質問した。

## 多摩都市モノレールについて



清水 晃  
(明るい未来)



モノレールを呼ぼうあきる野の会準備会が各町内会・自治会に要請し、モノレールのあきる野方面への延伸に向けた早期実現を求める署名活動が行われている。

**Q** この活動は、あきる野市町内会・自治会連合会規約第4条の第何項に該当するのか。また、同会の事業、活動及び予算に組み込まれているのか。  
**A** 連合会に確認したが、準備会としての活動であり、連合会の活動ではないとのこと。従って規約には該当しないと考える。また、連合会の事業、予算等に組み込まれておらず、支出もない。



**Q** 署名活動へのご協力をお願いとして、自治会内を回覧署名としていたところが見受けられるが、市の見解は。  
**A** 署名の協力依頼については、準備会からの要請により、各町内会・自治会が個々に判断して行っていると認識。  
**Q** 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会の活動、事業内容は。  
**A** 同協議会は、都内26市3町1村で構成。主な事業計画は、全線93km間全ての事業採択に向けた関係機関への強い働きかけを行うこと、構想路線の早期事業化に向け促進活動を行うこと、事業に必要な財源確保を国と都へ強く要請することである。

他にサビイロクワカミキリ等について質問した。

## リユースの啓発について



堀江 武史  
(自民党志清会)



**Q** 本市の住民から搬出された粗大ごみは、令和2年度では1177トンとなった。ここ5年間で最大の排出量である。まだまだ使えるものもあり、何とか必要な人に届けられないか。(株)ジモティーが行政と協定を結び、リユースの啓発や、使える粗大ごみを譲るような取組を推奨している。この取組を知っているか。  
**A** 現在、30以上の自治体と協定を結び、市民のリユース活動やリユース意識の向上等に貢献していることから、循環型社会の構築に取り組み立場として、注目をしている。

**Q** 協定を結んだ場合、必要な経費等はあるか。  
**A** 経費は必要ないが、譲り合う場を設定したり、そこで人を雇ったり、そういったことも想定されるので、そうした場合には費用がかかる可能性がある。

**Q** 協定締結後は、どのような取組を進められるか。  
**A** 他市の取組等を参考にしつつ、粗大ごみとならずに再び活用されるような仕組みづくりを進めたい。  
**Q** 他に武蔵引田駅北口土地区画整理事業について質問した。



**Q** 協定を結ぶ考えはあるか。協定を結ぶ方向で調整を進めていきたいと考えている。



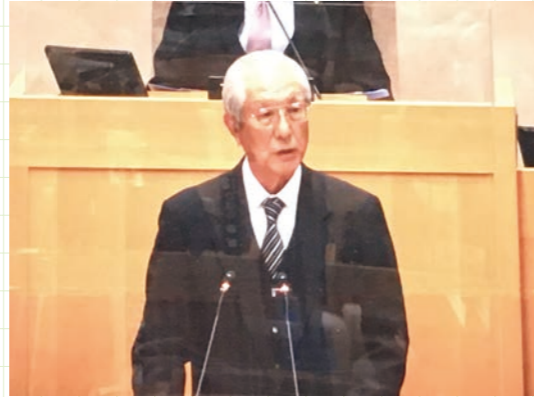
# あきる野市議会活動レポート

## オンラインによる行政視察受入れ



議会だよりのリニューアルと編集方法について、オンラインによる行政視察を受入れました。広報広聴委員の説明終了後、質疑応答や意見交換を行いました。(10月29日埼玉県飯能市議会、11月4日立川市議会)

## 教育長候補者所信表明



教育長任命の議会同意を得るに当たり、議会運営等に関する申し合わせ事項に基づき、11月2日開催の議員全員協議会において、丹治 充 教育長候補者が所信表明を行いました。

## 議員研修会



介護老人福祉施設の創設に関する調査特別委員会の提案で、12月14日に議員研修会を開催し、淑徳大学教授 鏡 諭 氏及び介護・医療ジャーナリスト 長岡 美代 氏から「高齢化社会における介護老人福祉施設の在り方について」の講義を受けました。

## 公共交通等調査特別委員会



公共交通等調査特別委員会では、現在、(1)地域公共交通等について(2)JR五日市線について(3)地域公共交通に関する条例についての3点を議題として取り上げ、調査、検討を行っています。

# 公共交通について



村野 栄一 (自民党志清会)



- A** 市内の地域特性は一律ではなく、公共交通網を計画するに当たり、利便性の向上と、継続的なサービスは課題である。
- Q** 地域公共交通計画の作成時期としては、いつ頃作成する考えなのか。
- A** 令和5年度または令和6年度を目途として作成する必要があると考える。
- Q** 走る地域の住民への説明会が必要になる。現在のスケジュールでは、説明会の実施時期を12月中旬から下旬に予定しており、協定は12月中旬までには締結する必要がある。
- AQ** 3者協定で滞っている理由は、市長の考えがあつて決定に至っていない。
- Q** 具体的には、いつ3者協定を結ぶのか。
- A** 12月3日のうちに協定書案の内容を確認し、12月6日の正午までには決裁をする。12月6日午後には、公共交通検討委員会があるのので、協定の準備が整った旨の報告をする。
- A** 他に東秋留駅前トイレについて質問した。

# 主な議案等に対する会派の賛否一覧

議案等番号	件名	議決結果	自由民主党志清会 (11人) ※1	明るい未来を創る会 (3人)	公明党 (3人)	日本共産党あきる野市議団 (3人)	くさしぎ (1人)
市長提出議案69	あきる野市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○
市長提出議案73	あきる野市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	×
市長提出議案87	令和3年度あきる野市秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	×	×
市長提出議案88	令和3年度あきる野市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	×
陳情3-7	パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度に関する陳情書	趣旨採択	趣	趣	趣	趣	○
議員提出議案3-8	村木英幸市長に対し反省を求める決議	可決	○	△	○	○	○

※1 議長は賛否に加わらない。 ○:賛成 ×:反対 △:会派で賛否が分かれたもの 趣:趣旨採択